

福祉のまちづくりセンターの活動いろいろ

例えば、あなたがひとり暮

らしの高齢者だとしたら、病
気などで、家で倒れて動けな
くなったとき、どうするでし
ようか。そんな時、いつも見
守ってくれる人が近所にいれ
ば安心ですが、そうした近所
付き合ひも、最近では、難し
くなってきているようです。

このため、家族や近隣だけ
でなく、地域で見守り支え合
う、新たなネットワークを築
いていこうと取り組んでいる
のが、「福祉のまち推進セン

ター」です。

中央区では、十四地区で福
祉のまち推進センターが開設
されています。ここでは、地
域の人が集まり、日常生活の
延長線上でできる応援を行っ
ています。

活動の内容は、ひとり暮ら
しの高齢者への訪問や、困り
事の相談の受け付け、ボラン
ティアの研修会などさまざま
です。こうした活動を通して、
地域で起こる問題を小さなう
ちに発見して対応することが

できる、支え合ひの輪を広げ
ていこうとしています。

しかし、「福祉の活動」と
聞くと、つい構えてしまった
り、難しく考えてしまったり
と、参加をためらう人も多い
ようです。

そこで、誰もが気軽に参加
できる行事や趣味の講座を開
催するなど、世代を超え、よ
り多くの人が、同じ地域に暮
らす人と交流する場をつくら
せています。地域の人たちの日
常的なつながりこそ、支え合
うネットワークの基盤になる
と考えているからです。

互いの交流を促す活動いろいろ

福祉のまち推進センターの
目標は、同じ地域に暮らす人
同士が、お互いに温かい心配
りをしつつ、そつと見守り合
ひ、気軽に支え合うことで、
安心して暮らせるまちをつく
ることです。

しかし、この目標は、すぐ
に実現できるものではありません。
地域での支え合ひを広

げるためには課題もあります。

「やはり、もつと多くの人
に、福祉のまち推進センター
のことを知ってもらいたい
ですね。そのために手作りの広
報紙を配っているんですよ」と
話してくれたのは、幌西地

区福祉のまち推進センター事
務局の森竹俊夫さんです。
同センターは、事務局と民

生委員が協力して週三回の相
談窓口を開設したり、高齢の
男性を対象にした料理教室
(表紙写真) などを開催して
います。

その中でも、主な活動は、
ひとり暮らしの高齢者への訪
問です。よりきめ細かい見守
り活動を行うため、町内会ご
とに福祉推進委員会というボ
ランティア組織を立ち上げま
した。

福祉のまち推進センターの活動いろいろ

異世代交流

日ごろ交流することが少ない
幅広い世代の人たちが、一緒
に参加できる行事を開催し、地
域の人たちが交流を広げる場を
提供しています。

(写真は、南円山地区のもちつき・昔遊び交流会の様子)



配食会

地域の人たちが手作りの食
事を、ひとり暮らしの高齢者へ
届けたり、大勢での食事会など
を通じて交流を図ったりしてい
ます。

(写真は、西創成地区の配食会
の様子)

